

保護者アンケート調査について（案）

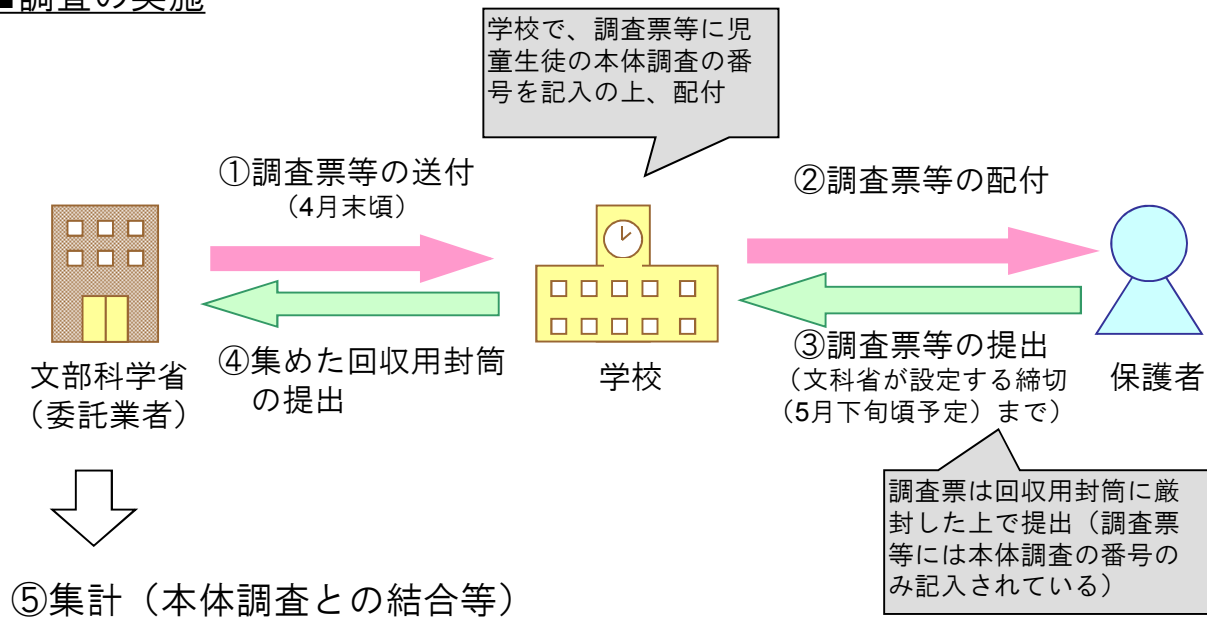
実施方法

■対象校の決定

公立小学校450校程度、公立中学校400校程度を抽出

* 地域規模別（大都市・中核市・その他の市・町村・へき地）に、教科に関する調査について、95%信頼区間、誤差±2.5%以内（悉皆調査での最新データである21年度調査の結果を勘案）となるよう設計。

■調査の実施



調査項目の構成

I 家族構成

II 子どもの様子

（親が言わなくても自分から勉強しているなど）

III 子どもへの接し方

（基本的な生活習慣、自然体験や芸術体験、子どもと話す内容など）

IV 子どもの教育に対する考え方

（子どもに望む学校段階、教育で重視する内容など）

V 子どもの教育費

（学校以外の教育支出など）

VI 学校との関わり・学校に対する意識

（学校の教育活動に関する理解、ボランティアでの学校への支援など）

VII 地域との関わり

（地域の行事への参加など）

VIII 保護者の意識・行動

（本や新聞を読む、普段取り組んでいることなど）

IX 家庭の状況

（世帯収入など）

専門家による追加分析

（家庭状況等と児童生徒の学力等の関係や、不利な環境にあっても成果を上げている学校の取組等）

保護者アンケート調査の実施方法（詳細）

調査の依頼

○25年度調査の実施要領策定後、調査対象候補校に協力依頼（12月頃）

公立小学校450校程度、公立中学校400校程度を抽出

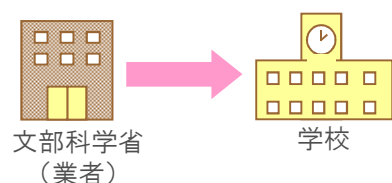
*地域規模別（大都市・中核市・その他の市・町村・へき地）に、教科に関する調査について、95%信頼区間、誤差±2.5%以内（悉皆調査での最新データである21年度調査の結果を勘案）となるよう設計。

調査の実施

①調査票等の送付 （4月末頃）

文部科学省（業者）から学校に、以下の資料を必要部数送付

- ・ 調査票
- ・ 配付用封筒
- ・ 回収用封筒
- ・ 保護者への依頼状
- ・ 保護者用パンフレット
（調査の目的、回答手順等）
- ・ 学校用マニュアル
- ・ 回収用の箱



②学校での調査準備 （調査票等受取後）

学校用マニュアルに基づき、以下の準備を行う

- (1) 以下の資料に児童生徒の本体調査の個人番号を記載（配付用封筒にのみ誤配を防ぐため児童生徒の氏名も記載）

- ・ 調査票
- ・ 配付用封筒
- ・ 回収用封筒

- (2) 配付用封筒に、それぞれ以下の資料を入れる

- ・ 調査票
- ・ 回収用封筒
- ・ 保護者への依頼状
- ・ 保護者用パンフレット

③学校での調査実施 （準備完了後～5月下旬頃）

【学校→保護者】（本体調査実施日以降）

- (1) 本体調査実施日以降に、各学校で児童生徒に渡すなどして、本体調査を実施した児童生徒の保護者に依頼

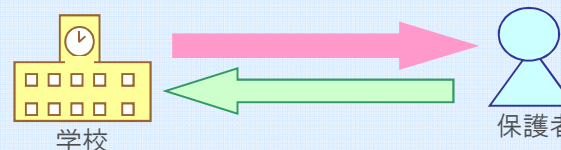
【保護者】

- (2) 保護者用パンフレットを踏まえて回答
※無記名。調査に協力できない場合は、調査票の該当の欄にチェックした上で提出

保護者からの問い合わせ対応のためのコールセンターを設置

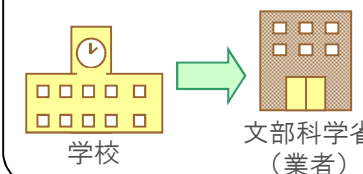
【保護者→学校】

- (3) 調査票を回収用封筒に入れて、厳封の上、学校に提出（※学校は保護者が協力したか否か分からない状態にする）



④回答の回収 （5月下旬頃）

学校は、集めた回収用封筒を文部科学省（業者）に送付



⑤集計 （集計後、専門家による追加分析）

本体調査の結果と結合させて集計